



# ネイチャーセンターだより

2017年2,3月号

## いきもの図鑑



### オオハム (アビ科)

学名 *Gavia arctica* 【北極のカモメ】  
英名 Black-throated Diver

主に冬鳥として、北海道や本州に飛来する。根室では、沿岸部や漁港、河口などで見ることができが、沖合いの鳥であるため、なかなか近くで見る機会は少ない。秋になると群れを成して南へ渡っていく様子が納沙布岬から見られる。冬羽は体下面が白く上面は黒褐色で地味な色合いをしている。シロエリオオハムと酷似するが、頭部の形や後脇の白斑の有無、首もとの黒線の有無などで識別することができる。オオハムのハムという名前は、「ウヲハム(魚喰み)」に由来するとする説がある。

### 【2月】

寒さがピークになり、風蓮湖では氷下待網漁が盛んに行われます。漁場では、漁のおこぼれを狙って、オジロワシ、オオワシをはじめカモメやカラスなどが群がり、冬の貴重な餌資源を求めて激しい戦いが繰り広げられます。



## 2, 3月のみどころ



ヒバリ



フクジュソウ

### 【3月】

上旬は厳しい寒さが続きますが、中旬から風蓮湖の氷が徐々に解け始め、オオハクチョウなどのカモ類が北上する途中に風蓮湖へ飛来します。下旬になると春国岱では春を告げるヒバリのさえずり、自然学習林ではフクジュソウが芽吹き、季節の移り変わりを教えてくれます。

# 見どころMAP

防波堤でたたずむオオワシ、  
オジロワシがいます。

カラヤキツツキの仲間が、  
混群を作り採餌しています。

ハギマシコがハマニンニクの実  
を食べにやって来ます。地面や  
テトラポットにいることがあり  
ます。

3月下旬にはヒバリのさえ  
ずりが聞こえます。

3月中旬から下旬には、オオハクチョ  
ウなどのカモ類が風蓮湖に飛来します。



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

⊗ 通行止め

## モモンガとの出会い

昨年の夏、学校対応の準備をするために、ネイチャーセンター閉館後自然学習林を下見していた時のことです。薄暗くなり始めていたので、早足で歩いていると、少し先にある小鳥用の巣箱から何かが動いたのが見えました。直感的に小鳥が巣箱を使ってくれたのかなと思いつつ近づいてみると、なんとそこにいたのはモモンガでした。以前から自然学習林にいることは聞いていたのですが、その姿を目にするのは初めて。騒ぎたい気持ちをこらえて、驚かせないようにそっとその場を通り過ぎました。3週間ほど同じ場所にいたようですが、その後は一回も見られていません。しかし冬期は、樹洞や巣箱などをねぐらとして利用するようになるので、もしかしたらまた出会うチャンスがあるかもしれません。みなさんも、樹洞や巣箱に注目しながら自然学習林を歩いてみてください。



トピックス

## 北海道しめっちカルタ原画展を開催！

道内各地のしめっち（湿地）を楽しく知ってもらおうと、北海道ラムサールネットワークが企画したしめっちカルタ。カルタの絵札、読み札は、道内の小中学生から応募し、選考会で採用された札が使われています。しかし、惜しくも採用されなかった札の中にも、ユニークで素敵なものから、くすっと笑ってしまうものまでたくさんありました。そこで、しめっちカルタに応募していただいた原画全 256 点全てを展示する原画展を開催しました。原画にはそれぞれ、レンジャーなどからのコメントが添えてあり、絵札と合わせて楽しめます！



展示は1月29日まで

## 珍鳥 ハマヒバリの飛来

昨年 11 月 27 日、春国岱第一砂丘にハマヒバリという野鳥が 4 羽飛来しました。ハマヒバリはユーラシア大陸から北アメリカにかけてのツンドラ地帯などで繁殖し、冬は中国西北部やアメリカやメキシコなどで過ごす鳥なので、日本で見かけることはあまりありません。飛来直後から警戒心がとても強く、体を隠す場所がない第一砂丘の草原では観察するのも一苦労でした。しかし、ハマヒバリを見ようと根室市外からも春国岱にいらっしゃるお客さんが多数みられました。ネイチャーセンターでは 12 月 29 日を最後に確認できていません。無事に本来の越冬地へ渡って行ってほしいですね。珍しい野鳥の飛来に春国岱が賑わった 12 月でした。

## 春国岱クイズ

答えは裏面にあるよ

冬になると港などにコオリガモという野鳥が飛来します。氷が浮いているように見えることからこの名前が付いたようです。コオリガモの鳴き声は、ある野菜の名前のように聞こえます。その野菜はなんでしょう。



実際に港にいったら聞いてみてね

A: 青菜（あおな） B: キャベツ C: コーン

# イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ  
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
2月5日（日） 8：00 ～11：10	ワシワシウォッチング 越冬のために風蓮湖・春国岱へ渡って来る海ワシのオオワシやオジロワシを観察します。 ※根室市役所からの送迎バスがあります。 出発 7:40 解散 11:30 バスをご利用の方は、イベント申し込み時にお伝えください。	保険代 100円	・定員：20名先着 ・対象：小学3年生以上～大人 ・集合：春国岱ネイチャーセンター ・持ち物：暖かい服装、あれば双眼鏡 ・締切り：2月3日（金） ※荒天の場合は中止

## スंक活動日記

12月20日 定例会：自然学習林に生き物図鑑設置。林内で見られる生き物を簡単に紹介するパネルを10個設置しました。少しずつですが、樹種が分かるように樹名板の設置も進めています。次回は、来年度の活動を定める総会を開催します。来年度はなにができるかな？



募集中！

## ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。主な活動は毎年行っている「ネイチャーセンターまつり」の運営や、自然情報の提供などです。ボランティアは、いつからでも経験がなくても始められます。お気軽にお問い合わせください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆年会費（保険料）：300円

ネイチャーセンターまつりの  
ツリーイング風景（2014）



## フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆2月休館日：2月1日、8日、13日、15日、22日

◆3月休館日：3月1日、8日、15日、21日、22日、29日

開館時間：9：00～16：30

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要事前申込）

クイズの答え・・・A（コオリガモの声はアア、アアと聞こえるよ）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録